

- りんごの品種構成は晩生種に偏重し、ぶどうの改植スピードは緩やかなため、**産地の競争力を高めるためには生産構造の変革**が必要。
- 対策の一つとして、りんごでは「紅いわて」、ぶどうでは「シャインマスカット」、「サニールージュ」などの、**要望品種導入による改植推進が重要**。
- そのため、普及指導員の調査研究活動を通じて、これら品種の**高品質安定生産技術の実証**を実施し、加えて**次世代を担う若手生産者の育成や園地継承の手法を検討**し、競争力のある果樹産地育成に取り組む。

普及活動の成果

主な活動内容

1 りんご・ぶどう有望品種導入による改植の推進

- 県農研センター育成りんご品種「紅いわて」の高品質安定生産技術の実証と普及。
- ぶどう簡易雨よけ施設への「シャインマスカット」「サニールージュ」の導入支援。

①有望品種の導入面積(単位: ha)

品種名		H27	H28	H29	H30
紅いわて	目標	35.0	40.0	45.0	50.0
	実績	36.6	40.4		
シャインマスカット	目標	1.5	2.5	4.0	5.0
	実績	1.6	3.0		
サニールージュ	目標	3.5	4.0	4.5	5.0
	実績	4.0	4.1		

2 果樹産地力の強化

- 次世代を担う県内若手果樹生産者の交流促進。
- 篤農技術継承のためICT技術を活用した学習教材作成支援。



若手生産者の剪定交流



ICT活用の学習教材

平成27年度
 ■ 平成26年に発行した「紅いわて栽培マニュアル」について、**新たな調査研究の成果や試験研究成果を追加して平成27年8月に改訂し発行**。
 ■ 県下の若手果樹生産者が一堂に会した**若手果樹生産者交流会を主催(参加者65名)**。なお次年度以降も継続して実施。



平成28年度
 ■ **調査研究活動で得られた成果をもとに、「サニールージュ」栽培マニュアルを作成(発行は平成29年)**。
 ■ 民間企業と協働し、ICT活用の学習教材作成として、整枝・剪定の問題を作成し、登録ユーザー向けに公開。



平成29年度
 ■ **調査研究活動で得られた成果をもとに、平成26年に作成した「シャインマスカット」栽培マニュアルを改訂予定**。
 ■ 学習教材作成として、摘花・摘果の問題を作成し、登録ユーザー向けに公開予定。

関係機関との連携

- 県域Gは、県農研センター、各普及センター、県庁関係課、全農、各JA、種苗センター等との連携をコーディネートし、検討会開催や実績の取りまとめを実施。
- 県農研センターは、**各普及センターの調査研究活動では実施できない詳細なデータ集積**を行い、情報を提供。
- 各普及センターは、**実証圃の設置・運営にあたり生産者との調整及び実証圃の管理指導を実施**。
- 各JAは上記実証圃の運営に協力し、全農は各JAとともに有利販売のために連携。
- **流通課・農産園芸課は、展示圃運営にかかる予算を確保し、運営を支援**。

普及活動の特徴

- 「紅いわて」では、県内5カ所で地域適応性把握展示圃を設置し、**平成23年度から継続して調査研究活動を実施し、試験研究と普及が連携を図りながら、技術蓄積と情報共有を実施**。
- ぶどうでは、**隣接普及センターの調査研究活動を、県域普及グループがコーディネートし、地域を越えて得られたデータや成果の共有を実施**。